

## 地域ふれあい道徳 公開授業

### 1 実践の内容

「こころをかたちに」というテーマのもと、南アルプス市が発祥の地である「小笠原流礼法」の西海師範をゲストティーチャーとしてお招きし、お茶の出し方・いただき方・お菓子のいただき方などを学んだ。

### 2 授業の様子

懐紙を折って、お菓子の下に敷く搔敷（かいしき）を折る場面



お茶・お菓子の出し方



### 3 授業を終えての感想

〔生徒〕

- ・知らなかった礼儀を知ることができてよかった。また教えてほしい。
- ・今まであまりおもてなすことについて考えていなかったけれど、今度からおもてなしの心を

持とうと思った。昔から今までずっと続いている礼儀を大切にしていけるといいと思った。

- ・お客様をもてなすときに、今日習ったことを生かして相手にいい思いをしていてもらいたい。
- ・食べることは生きていくこと、ということを学んだ。
- ・人から見た、自分の見た目は大切なんだなと思った。これから素敵なおもてなしができそう。
- ・だれであっても家に来たらおもてなしの心を持って接しようと思った。
- ・おもてなしの方法や動作には一つひとつ理由があることを初めて知った。もてなす動作などをもっと知りたいと思った。
- ・食について、病気の時に薬などで治すよりも食について考えて治した方が健康な気がするの、これからは食について気をつけたい。
- ・おぼんの持ち方に4種類もあって驚いた。西海先生が優しく教えてくれたので、しっかり学べた。
- ・お客様に居心地の良い環境を提供することが大切。

[保護者]

- ・礼儀作法というと形だけの堅苦しいものだというイメージがありましたが、時と場合により相手のことを思いやる気持ちから臨機応変に対応すればよいのだと知りました。西海先生のように、礼儀作法を自然に使いこなし、自信をもっていろいろな場面で人に接することができるようになりたいと思いました。家庭でも習ってきたことを実践していきたいです。
- ・相手を思いやる心がもてなす心だと思いました。一つひとつの動作に意味があり、とても役に立つ話をしていただいて、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・家族以外のお客様が家に来ること少ないですが、作法を理解しているだけでなく、気持ちよく過ごしてもらいたいと思う心が大切なのだと感じました。先生の穏やかな話し方に癒されました。

つい忙しくしていると話し方まで余裕が無くなりがちだな・・・と思いました。ゆったりと大人として自然に身につくまでになったら素敵だと思いました。なかなか一息にそこまで行くのは難しいですが、心がけることからやってみたいです。